

人のつながりで育む たつのの暮らし



安心して子どもを育てられるまち — ファミリーサポートセンターで、“支え合う子育て” —



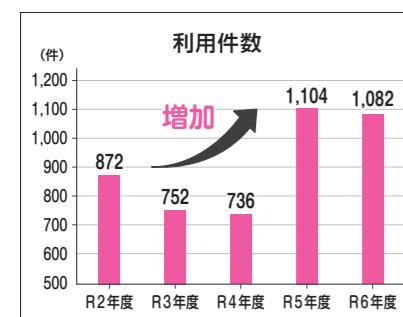
だれかを頼れるって、こんなに安心



子育てには、ちょっとと誰かの手を借りたい瞬間があります。たつの市では、ファミリーサポートセンターが、「助けてほしい人」と「手伝いたい人」をつなぎ、日々の子育てを支えています。

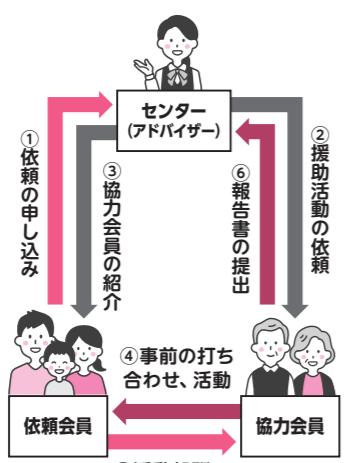
▼ファミリーサポートセンター（たつの市社会福祉協議会内）（☎63・5117）

● **協力会員さんについて**
現在は、協力会員さんによる一時預かり利用のきっかけは、出産後新たに就職することが決まったことです。8時30分に出社しなければならなかつたのですが、朝の時間帯の預け先に悩んでいました。何か方法はないかと探すと「ファミリーサポートセンター」を見つけることができました。



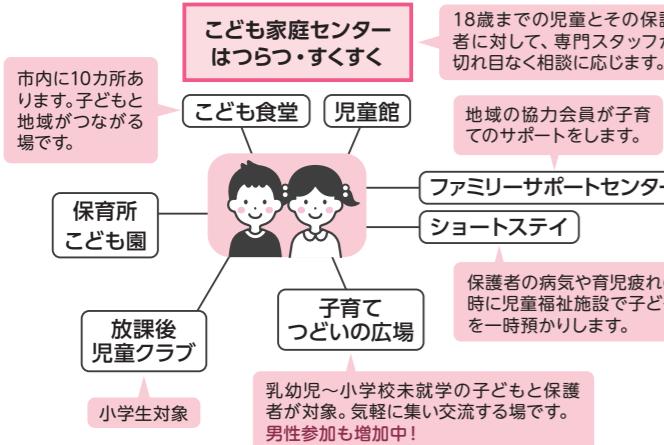
協力会員の声（中島さん）

「若い方のお手伝いをしたい」と思つて始めました。一時預かりで子どもが来るなど、お母さんから感謝されたり、成長した子どもから「ありがとうございます」といふことがあります。



たつの市が進める子どもや子育て家庭を支援する地域づくり

▶児童福祉課（☎64・3153）



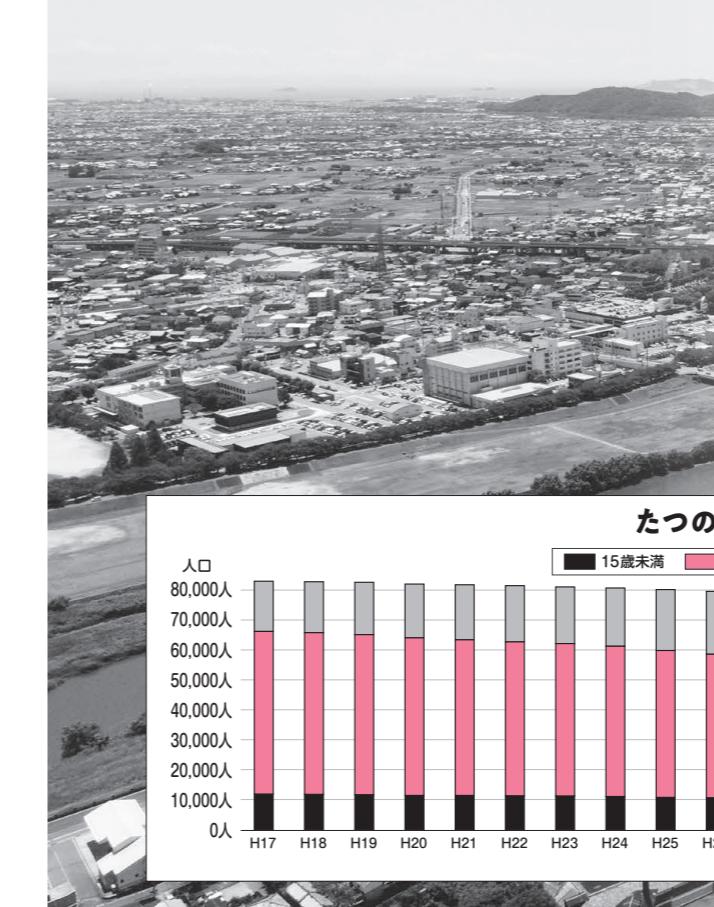
協力会員

224人
(令和7年4月1日時点)



協力会員として活動しませんか？

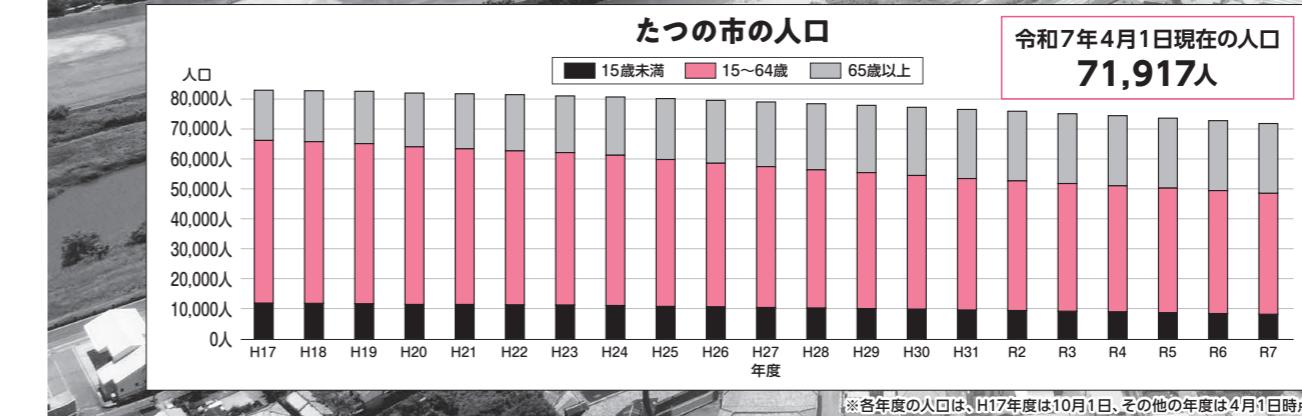
「協力会員養成講座」を開講しています。子ども達の手伝をしたい方が安心して活動を始められるよう「協力会員養成講座」を開講しています。子ども達の接し方や安全確保のポイント、活動の流れなどを基礎から学べるため、初めての方でも不安を抱えずに参加できます。講座を受けた後も、センターが相談に応じ、活動をサポートします。地域で子育てを支える一員として、できる範囲から関わってみませんか。



市制施行から20年。たつの市では、少子化や高齢化といった社会の変化の中で、人口構造も移り変わっています。こうした時代の流れのなか、市では、子育て支援の充実をはじめ、若者・高齢者を含む全ての世代が安心して暮らしこそられる、地域で支える仕組みづくりを進めています。

さらに、移住や創業など新たな一步を後押しする施策も展開し、人が育ち、支え合い、次の世代へとつなげる。そんな「未来応援 住みたいまちたつの」の実現を目指しています。

令和7年4月1日現在の人口
71,917人



本市の人口は、出生数の減少による自然減と進学や就職をきっかけとした若年層の転出による社会減により、平成17年（令和4年）から約20年間でおよそ11,000人減少しています。

一方で、社会減の主な要因は若年層の転出であり、令和2年度から令和6年度の転出は、年60人～230人程度の超過が続いています。そのような中でも、同じ期間において、30～40歳代の子育て世代では、年10人～30人程度の転入超過が見られます。

これは、子育て施策の充実に加え、身近な地域で人と人が支え合う環境があることで、子育てしやすいまちとして本市が選ばれています。「住んでよかつた」「住み続けたい」と感じられるまちであるためには、子育て環境の充実や女性の活躍を支える取り組みを継続していくことに加え、人と人がつながり、地域全体で支え合う関係づくりが欠かせません。また、「帰ってきた」「住みたい」と思える環境を整え、U・J・Iターンにつながる流れを育てていくことも重要です。

本特集では、人のつながりを通して見えてくる、たつの市の魅力をお伝えします。

誰もが安心して暮らせるまち

地域包括支援センターを中心に、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援しています。

相談体制の充実と人と人のつながりを育む取り組みを支援しています。

安心して子どもを育てられるまち

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を大切にしながら、子育て家庭を支援する地域づくりを進めています。

5ページ

“たつので暮らす・はじめる”を支援

たつの市への移住を支援する補助金や創業支援事業補助金（商工振興課：☎64・3158）などを通じて、新しい暮らしを始める方を支えています。

こうした取り組みにより、ふるさとに戻る人や移住する人の動きが少しづつ広がっています。

7ページ

6ページ